愛國婦人會機關

愛國婦人

毎月五日二十日發行

（定價）一冊參錢 一ヶ月分六錢 三ヶ月分拾八錢 半年分參拾六錢 壹ヶ年分七拾貳錢 全國無遞送料 郵券代用（壹錢又は五厘切手）一割增
廣告料五號活字一行四拾錢

發行所　東京市麴町區下二番町三十七番地 大日本女學會內　愛國婦人發行所
發行兼印刷人　山澤俊夫
編輯人　手島益雄

社說

戰爭の終局は何時なるか

『戰爭はいつ濟むであらうか』とは、人々の動もすれば口にする所であるが、先頃伊藤侯爵は或所で、戰爭の終局は自分にも分らぬ、恐らく誰にも分るまい、と云はれたさうだが、實に其通りで、何時濟むであらうかと、氣遣ッて見た所で、所詮取留の附かぬ話である。

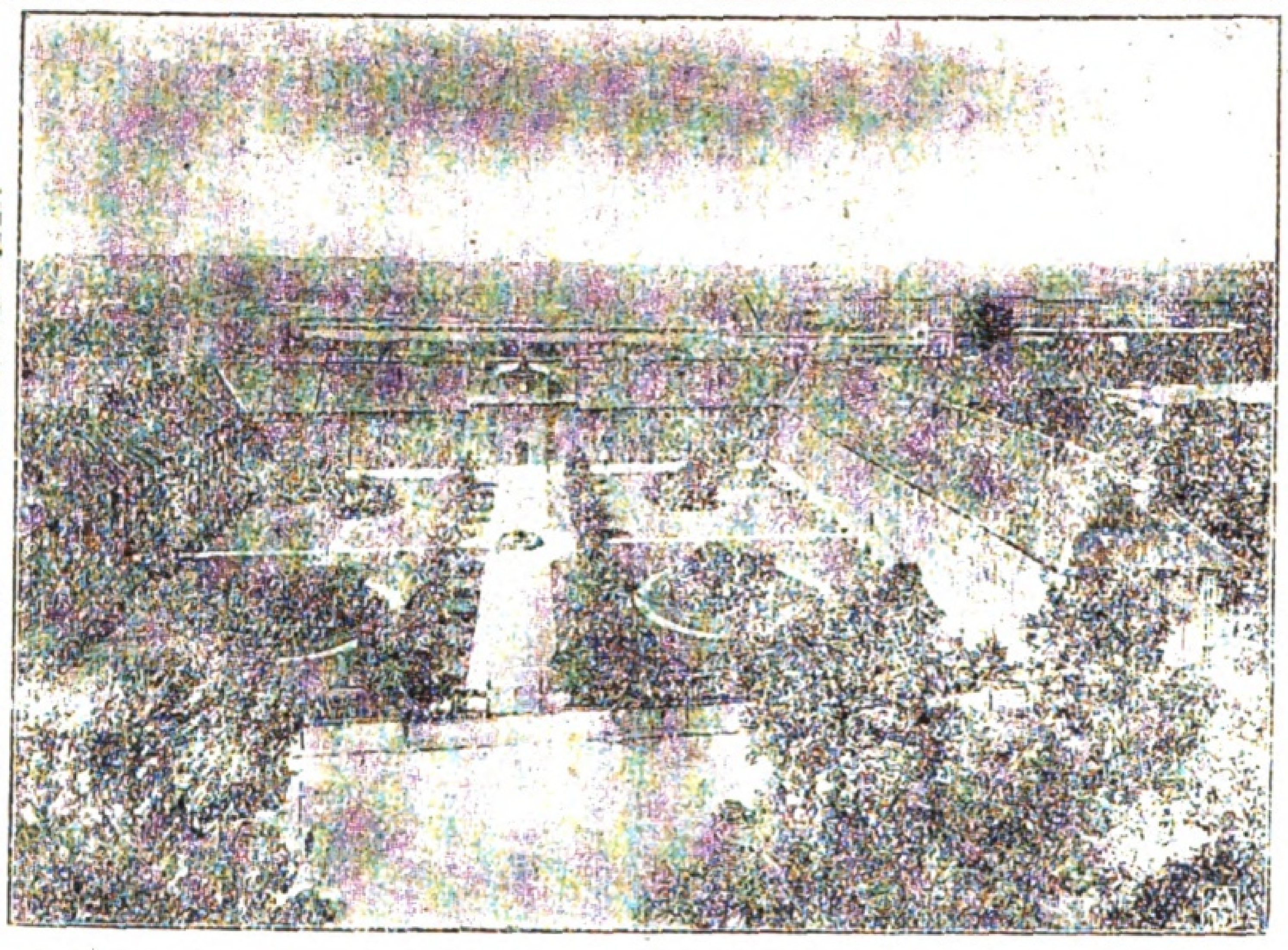
この日露戰爭の大勢に就いて、局外中立者たる各國の人々は屢言うて居る。露軍は退却する程、本國に近くなるから、其輸送の困難を減じ、日本軍は敵を追うて北に進む程、其輸送の困難を增す。故に露軍は退却して勢力を調へた上で、更に逆擊するから、日本軍は容易に深入りが出來ぬ。と論じて居る。然るに今日の軍況で見ると、旅順が包圍されて危機旦夕に迫ッたので、流石の露軍も、退却一途の舊套を趁うて、旅順を看殺にする事が出來ず、黑鳩禽は露帝より南下を命ぜられたといふ事が事實らしくある。是れは我に取ッては喜ぶべき事で、彼れより出かけて來て野戰となれば、我は十分に勝を奏するとが出來るであらう。南山の如き、鴨綠江の如き、彼に十分の防備があッて、大不利益に立ッた戰爭でさへ、我軍は立派に勝ッたのである、得利寺附近の戰の如き野戰に於ては、敵に十數倍の損害を與へて潰走せしむるとが出來るのである。されば、野戰大勝の快報は、旅順陷落の快報と共に、遠からざる中に新聞紙上に現はれ、萬歲聲裏に日露戰爭の一段落を告げるであらう。

さて、一段落を告げた處で、頑冥不靈なる彼れ露國は、容易に媾和は申出ないで、つまり其得意なる退却戰略を取るであらう。其所で此戰略に向ッて、我は如何にして應ずべきであらうか、逃るを追うて餘り深入するは不得策であらう、されば、とて軍を滿洲より旋せば、彼れは再び出懸けて占領するであらう、隨分厄介な譯である。

深入も出來ず、引揚は無論出來ぬとすれば、勢ひ其處に軍を止めるより外に仕方はない。さて、止まるとすれば、何時まで止まるべきか分らない事であるから、軍隊は兵農を兼ねたる屯田兵とならねばなるまい、斯くするには、其農產物を分配したり、軍需品を供給したりする商人がなくてはならぬ、さて滿洲を我が農商業地と爲するは、其農業も屯田兵のみに止めず、普通の農民も亦、布哇や米國に出稼する樣に、大勢出懸ける事が極めて必要である。然るに布哇や米國では、先方に農業の資本家が居ッて、其人達に雇はれて勞動するに過ぎないが、滿洲では資本家も日本人でなくてはならぬ。故に資本家として、勞動者監督人として、有爲な人々も出懸ける事が必要である。又政府に於ても、出來得る限り、是等出稼の人々を保護するとが必要である。斯の如く氣長き考てかゝらねば、此度の戰爭はいつまでも終りを告げないかも知れぬ。

日本に於ては、年々人口が四五十萬も增加するから、移住には極めて都合の好い國で、斯樣な機會がなくても、移民は獎勵せねばならぬ國柄であるから、是非此機會を利用せねばならぬと思ふ。日本人が大勢移住して、滿洲の實力を占めさへすれば、主權は依然支那に屬して居ても、實利は我に收められるであらう。之を布哇に徵して見ても、同島に於ける日本勞動者は大抵下等の被雇人ばかりであるから、社會の上に力を伸ばすには困難であるが、日本の實益は少々でない。今日布哇に居る日本人は約七萬人であッて、少くとも一人一個月平均十弗は餘裕を生じて本國へ送金する。一個年には一人二百四拾餘圓、七萬人を積もれば千六百八拾餘萬圓である。日本の貿易は年々輸入超過であるにも拘らず、金貨の流出が甚しくないのは、是等移民の送金も慥に一原因を爲して居る。此送金は移民が外國の金で食ッたり着たりした上の餘裕であるから、移民が國の經濟に利益ある事は非常である。其衣食の料も亦本國へ受取る額が少々でない、輸出表を見るに、明治三十五年に於て、淸酒が八十三萬一千圓、醬油が三十九萬圓とある、而して其輸出先は布哇・韓國・北米合衆國・露領亞細亞等いづれも、日本人の出稼場所へ行くのである、さうして其過半は布哇である。移民の利益は斯樣に較著なるものであるから是非滿洲へ大に移民の策を取らねばなるまいと思ふ。

以上論じた樣に、戰爭の終局はとても豫定は出來ぬ、唯、忠勇なる將卒が益々勇戰して、敵に多大の損害を與へ、一般國民に於ても弛びなき精神を以て後援に力め、敵をして乘ずべき寸分の虛も無い樣に働きさへすれば、早く終局の勝を收めれるのである。國を思ふとの篤き我會員の婦人達と共に、大に覺悟せねばならぬ事である。



（獨逸國廢兵院寫眞　長岡參謀次長寄贈）

◎婦人と社交

子爵　長岡護美

左は此の程東洋婦人會に於て子爵の演說せられし要領なり

東洋諸國に於ては古來社交の盛んに行はれた時代もあッたが元來東洋では階級制度の爲めに秩序と云ふ事に重きを措きたる結果社交によッて社會の幸福を進めるの工風は甚だ薄いやうであッた凡そ社交と云ふ事については婦人が其の主たるものであッて婦人が交らねば圓滑なる社交は得られないものである日本も戰勝國なる名譽を得たる曉には益々社會の進步發達を計らねばならぬがそれには男子も女子も一樣に講すべきであるが社交に於ては女子の方が主となッて働かれんことを希望する斯くなれば社會上の樂しみも加はり外交關係も親密を加ふるやうになるのである

女子敎育が進むに從ひ男女相互の間に生ずる誤解の點も氷解せらるゝ事となり敎育上の智識と社交上の智識と相結び付き圓滿なる社交を營むに至る事と思ふ本會も東洋諸國の婦人を集むるのみでなく一步進んで歐米の婦人も加へ交際社會の中心となられるやうにつとめられん事を希望します

九連城の戰に戰死者あまた有ける山を聞きて

京都會員　花輪よしの子

勝軍きくにつけてぞいたまるゝ
　かへらずなりし益良武雄を

殘りの月のあかさに戰場を思ひて

海に陸にひゞくつゝ音うちたえて
　あかつき寒く月やてるらん

いくさにつきて

萬代をよばふもろごゑ勇ましく
　やがてうらるの峰にひゞかむ

筑前粕屋郡篠栗村なる岡部海軍兵曹の戰死を弔ひて

福岡會員　村島常子

名にたかき初瀨の山のさくらばな
　ちれどその名は世々に匂はむ

愛國婦人會總會に林兵曹の行ひを小笠原子爵の演說にものせられたるを聞きて

東京會員　白田はつ子

老いし親不具のはらから殘しおきて
　いのちをしまぬその心はも

電話番町一千三百三十番

◎本號附錄には評議員伯爵夫人酒井夏子愛媛縣支部長菅井よう子滋賀縣支部長鈴木鐐子の肖像を添ふ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎日本は何故に强きか

伯爵　大隈重信

左は此の程東洋婦人會に於て伯爵がものせられたる演説の要領なり

◉女子を除けた天罰　凡そ國の盛衰は偶然でない一國を組立てるものは人である人は男子も女子も同一である女子の力のある國は盛んになり女子の力のない國は衰へるは古今の歴史に徴して明なる事實である東洋の諸國は昔し非常に盛んであッたが今日では日本を除くの外何の國を見渡すも皆衰へて居る何故如斯衰へたかと云ふに全く女子を社會より取り除けた天罰である即ち天祐を得られなかッたのである

◉國の基は夫婦なり　東洋諸國に於ては宗教上よりして階級政治行はれ其の結果女子を人類として取扱はなかッた女子も又これを天命かの如く心得て滿足し男子も當然の事として別に怪まなかッたそれが爲に政治風俗を亂した元來一國の基は家である家の元は夫婦である夫婦よりして子夫れよりして社會と云ふ順序のものであるに社會の最も基なる婦人を國家の組立よりして取除けたのであるから國の衰へるのも無理はない

◉日本は婦人を困しめざりし　東洋諸國の衰ふる其の中にあッて獨り日本のみ朝日の東天に昇る勢を以て何故に今日の如き隆盛を來たしたか是れ頗る研究を要すべき事である日本も開化の源泉は同一であッて印度よりは佛教渡來し支那よりは儒教來ッた又人種も同一である斯の如く文學美術風俗慣習人種等も同じであるが只だ一つ異なる所は日本は婦人を困しめなかッたのである建國の有樣が異なる我等の祖先の始祖と仰ぎ奉る天照皇太神は實に女神である此の御先祖に對しては祓除の詞の中にも又明治の五ケ條の御誓文にも憲法にも皆此の女性の神に對して誓はれ此度の戰爭にも伊勢の太神宮に第一に勅使を立てられた此の神は即ち女性であッて我が國では女性に對して限りなき尊敬を盡して居るから大陸諸國の如く天の罰を受くる事がないのである

◉女性の尊敬と文明同化の力　今日日本の勃興は偶然でない封建制度の時代でも家庭は嚴格であッて婦人にも相當な地位を與て決して困しめない女性で帝位に登られた方さへある是れ大陸諸國と異なる點である次には文明をよく同化して日本的に爲するの力を有する事である古來大陸から傳はッた佛教でも儒教でも皆日本的に消化されて仕舞ッた又歐米の文明を採用する事も早い古しへより日本にもよい材料はあるのであるが此の材料の組立てを知らず永い間土藏に仕舞ッてあッたのであるが歐米の文明が一度び之に觸るゝに當ッて此のよき材料は直ちに發現し文明を能く同化し明治の國家を組成したために忽ち今日の如き隆盛を見るに至ッた次第である

◉軍隊の母　文明の進むに從ふて婦人の地位が十分に認識せられて或る程度迄は男子と同樣に進む必要を認めるやうになッた昔しも中流以上の家庭に於ては女子も相當の教育を受け殊に武士的の教育感化は家庭に及んで善良なる發達を遂げ明治に至ッて益々教育の途も開け婦人の地位も高まるやうになッた結果今日世界の人を驚かす勇氣ある軍人を生んだのは實に婦人の力であッて若し婦人が奴隷の如きものであッたならば如斯光榮ある軍隊は出來ないのである

◉黄禍説の誤解　私は此所に支那朝鮮の方も居られる前であるが日本は實に豪いと云ふ事を斷言して憚らぬ支那朝鮮も人種は同一であるから豪くなるべき性質は持ッて居るのである近來黄禍論が歐洲ではあるやうであるが黄禍人種は支那人ではなく韃靼族である世界の人を驚かした成吉思汗は蒙古人であるこれは支那の北部に當る蕃族である此の蕃族の爲め昔し世界が荒らされたから露西亞も荒らされ日本までも來た其の時よりして所謂黄禍説なるものが起ッたのであるが顔の色などはどうてもよろしい精神さへ白くあればよいのである

◉婦人の地位を高めよ　支那朝鮮も發達すべき性質を持ッて居るのであるから自ら中華などと云ふて尊大に構へず西洋を敵とするの考を捨てゝ西洋の文明を總て採ッて以て我がものとするの考へが國民になくてはならない其の魁として東洋諸國の婦人の地位を高める事が第一である本會が其の意味を以て日本のみならず廣く東洋まで及ぼされたのは滿腔の同情を表する次第であるが尚一層其の規模を擴張して東洋のみならず西洋の婦人をも社交に入れたならば一層光榮ある働きを爲すことゝ思ふ

◎加納子爵の家庭

左は府下荏原郡入新井村に住まはれ信用組合の好模範を示さるゝ加納子爵夫人の許を訪問せし際談話せられたる要領なり文字の責は記者にあり

◉教育上の自由主義　私は小兒に對して教育上には最も不干渉主義を採ッて居りますから決して學問上は素より小兒等の自由と認むる範圍には立入らぬやうにして居りますが而し規律は最も嚴格に守らす事に致して寢る時間も起きる時間も長幼の差によッてちやんと定まッて居り如何なる用事があッても時間になれば床に就くと云ふ定めになッて居ります

◉自分の事は自分でさす　自分の力で出來ない事は兎に角自分で出來る事は自分の仕事は必ず自分でさす規定になッて居ります靴を磨くことは素より自分の衣服の出し入れを始め室内の掃除等皆名々にする事にして六人の子供がありますが年齡と男女との區別により二人に一室位の割合で各々室を與へて其室の整理は總て其の子供がする事にして居ります

◉衣服と袴　女の子供は華族女學校に通ッて居りますが服裝は簡單と質素とを旨とし以前より改良服を着せ且つ家に在る時と外に出る時とを問はず巾の廣い帶はしめさせない事にして居ります袴は紐が長い爲めに子供の内は自分で自分の紐が結ばれぬやうな事がありますから私が一つ發明して紐を短くして釦合はせるやうにし袴の内に一つの隱袋を作り之に必要なものを入れるやうに致しました華族女學校でも隱袋は大分作られる人があるやうになッたさうです

◉ベルで小兒を呼ぶ　小兒等は運動する事が盛んてありまして學校から歸ると直ちに運動場に往ッて遊んで居るのを常とします夕食は本月は五時十五分に始める事に致して居りますが十分前に裏に備へ付けてある遠方まで響くベルを鳴らすと一同歸ッて來て食卓に就く事になッて居ります又平常でも子供を集める必要がある時には必ずベルを鳴らします此の音を聞いたら小兒は必ず何事をして居ッても一所に集る規定になッて居ります

◉間食を與へず　私共の小兒には一切間食を與へぬ事に定めて居ります菓子其の他のものを作ッても食後直ちに之を與へて其の中間には斷じて與へませんから子供も決して請求致しません善く運動して食卓に就くのを最もよろこんで居ります

◉汽車の下等　今日でこそ此近隣の華族又は金持の子弟が東京へ通ふに下等の汽車に乘るのは通例となッて來ましたが私共は餘程以前より學生時代は汽車は下等に限る事に定め之を實行して居りましても始めの間は或は小兒心に妙であると云ふ考が起ッたか知りませんが次第に平氣になりました

◉小兒婦人倶樂部　此の近隣より東京へ通ふ子供の間に倶樂部見たやうなものが出來まして白梅會と名づけて毎土曜日に會員の間を回り合ッて會合を爲し其の週間の出來事に對し互に思ひ〳〵の話をなし子供の茶話會の如きものが設けられ茶菓を喫して解散すると云ふ餘程興味の深い會が出來まして毎回幾分かづゝ金を積み立てゝ子供の爲の慈善事業に投ずる事になッて居ります

◉下婢の使用　下婢は多く使用の必要を認めません只今三人の外は居りません忙しい時は私共も襷掛で臺所も手傳ひます下婢のする仕事は別段に分擔方法は別ッてありません働く時には共同して働き休むときは共同して休み奧の方を働くものは勝手許が如何に世話しくても知らぬ顔をして居るやうな事はありません又年に三回位は下婢計り連れ合うて遊ばせに出します永く居てよく勉めた下婢には忠實に勸めた旨の證明狀を與へます土曜日毎に洋食の料理法を教へて遣はし給料の半額は貯蓄せしめ特別の理由を證明するの外は出さぬやうにして居ります

◉戰爭以後の家庭　私共には戰爭が始まッたからと云うて別段に是を儉約すると云ふ程の事はありません只主人が夕食の時に小瓶の麥酒を一本づゝ飲んで居ッたのでありますが醫者も酒をやめたらよからうと云ふのでこれをやめて奬兵會に出す事にして居ります

◉信用組合の手傳ひ　當村の信用組合の事を引受けて居りますから私共も毎日其の手傳をして村の人と應接して金を預かッたり貸す金を出したりして臺帳に記入させるやうに夫れ〳〵下調をして居りますから中々忙しうあります

◉幻燈會を催す　戰爭が始まりまして村の人の精神を鼓舞する爲一は恤兵の目的で先日幻燈會を開きました處非常に盛會でありました

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

史傳

木蘭女

評議員　下田歌子

支那、梁の世の木蘭女は、ある一農家の一女、其の父に代り、兵役に服して、勇名を轟かし、人なり。其の頃夷狄の中國を犯すことしば〳〵にして、官軍常に利を失ひければ、兵役に服する者、みな從軍を厭ひて、あるは病に託し、あるは山野に遁れ隱るゝ輩の、年々に多く成りにければ、官は、大いにこれを憂へて、遂に、徵兵を勵行し、大抵の病ある者も、免さるゝことを得ず、遁れたる者の見出ださるゝことあれば嚴刑に處せらるゝに及べり。徵兵の困難斯くの如くなりければ、年齡も、十七八歲より、六十歲に近き者まで、兵に役せらるゝことゝ成れり。

さても、木蘭の父は、齡既に六十になん〳〵として、身體さへ健やかならぬに、近來は、病にさへ罹りて打ち臥しけれども、官は毫もこれを假借せず、猶も軍に從はじとならば、嚴刑に處すべしと掟てられぬ。木蘭女は、この有様に甚く心を苦しめて、兎や角やと思ひ、廻らしける末、遂に黑髮を斷ち、軍服を裝ひ、幼き時遠國に往きたりし男兒の還り來たりて、父に代るなりと云ひこしらへけり。當時は嚴重なる、兵士が身體調査も無き頃なりしかば、奇特なることゝて、遂に父が名代として、從軍を免されけり。

木蘭、軍に從ひて、出征せし時は、同行の兵士等、其のか弱く美しきを見て、さま〳〵に噂を爲合ひけるが、木蘭の職務に盡すこと、いと正實に、且又敵に對しては、極めて雄々しく、夜討、朝驅には、いつも人後に立ちしこと無く、手足のか細きに似ず、力量もまた他に越えて、度々の奇功を奏し、何事もかひ〳〵しく取り計らひたりしかば、將校も二無き者に思ひて寵用しけり。木蘭軍に從ひて、異域に在りけること、十二年の久しきに及び、平和漸く復して、凱旋の悅びを見るに至り、始めて、戍邊の詩一篇を作りて、其の女性なることを顯しけりとぞ。

木蘭女性にして、能く父に代り、男裝して、遠く外征の軍に從ひ、しば〳〵勇戰して奇功を奏し、其の任務を全うして、恙なく凱旋するを得たるは、誠に驚歎すべきことなりかし。彼の、露國の少女が、一青年士官を慕ふが爲に、男裝して兵士に粉し、旅順港内に在りて、非命に死したりと傳ふ、其の情は憐むべきも、其の志の趣くところ、實に霄壤もたゞならざるなり。古來、斯くの如き、英邁の女性をさへ出だせる、支那帝國の女子、希くは目下の趨勢に鑑みて、奮勵一番せよ。

○娯樂と遊戲

醫學博士　三宅秀

○旅行の娯樂　娯樂として旅行をすると云ふことは健康を保全する爲に最も良いことである、殊に平常都會に住して居ッて、用務の多端なる人の如きは、必ず一定時間は賑かな土地を避けて、平日の用務を廢して、閑靜な所や景色の好い所を巡遊すると云ふことは、最も健康保全の爲に良いことである。日本では閑靜な場所景色の好い所を撰んで、富豪の人が多く別邸を控へて在つて、そこで日を暮らすと云ふことが行はれて在るけれども、是は景色なども常に同じ所にばかり住んで居つたならば變化が無くして面白くない。矢張り旅行して彼方此方と名所古跡などを尋ねて歩くと云ふやうなことの方が、私有の別邸へ行つて身體を養ふより優るだらうと思はれる。溫泉場と海水浴其外にも、暑を避ける寒を避けると云ふ目的で旅行を爲し、又は溫泉に浴する、海水浴を採ると云ふやうなことならば、處々旅行せずに目的地に行つて、そこに滯留することもあるけれども、兎に角是迄の惡い習慣では、其目的地に着して仕舞ふと大切な運動と云ふことを一向せずに、唯逸居して酒食に耽ると云ふことは、甚だ衞生には適はぬものである。避暑・避寒等に行つて居ッても、十分其土地で運動をする、即ち逍遙散步と云ふことを怠つてはならぬ。日課として戶外運動は務めなければならぬ。吾邦では湯治などのことも昔から開けて在ッて、湯治場には隨分浴客が澤山來て居るけれども、昔の考で湯にさへ浴すれば身體の利益になることと思つて、日に何回も入浴して、さうして運動をせずに唯飮食と入浴とのみを務めて、其他は寢て居ると云ふやうなことであつては、健康保全の效力が誠に乏しいのである。

（但馬出石町字鶴山にある鶴の巣籠りの寫眞）

○登山　日本では昔から名山には必ず神社・佛閣等が置かれてあつて、そこに參詣をする、登山をすると云ふことは、信仰の點から來つたのであるが、高山と云ふものは空氣が清淨であつて、氣候は夏でも冷しいからして、此冷たい空氣が皮膚を刺戟して、精神に及ぼす效能、並に空氣が清潔であるから、日光が能く透るので食事も進み、睡眠も促されるものである。其外高山に登ると眼界が廣くなるので、一種精神上に及ぼす働きがあつて、頗る爽快な感じを起させるものであるから、娯樂として登山するのは、最も勸むべきことである。唯富士山のやうな高山に登ると、間々身體の具合で山に醉ふ感じを起して、不快な感覺を起して來る人がある、呼吸が迫つたり面色が蒼くなつたりするやうな事があるから、さう云ふ人は無論登山を見合はせる方がよい。

○航海　外國では娯樂の目的で航海すると云ふことがありますけれども、日本には却つて此事が廣く行はれて居らない、併し此四圍環海の國柄であるからして、前に登山を勸めた如くに、航海も試みるのが至極よかろうと思ふ。海の空氣と云ふものは最も清淨であつて、且つ寒暖も穩和である。風の無い日でも船が走る時分には、此清潔の空氣が衣服と肌との間を吹通して在るので、不潔の空氣が自分の肌の周りより掃ひ除かるゝに由りて、大變に食機も進むやうになるし、自分の身體が動いて居らぬでも、船が動搖する爲に、間接に遊動して居る譯になる。其爲に能く眠氣も催すのである。唯此航海に就て少しく障る所のあるのは、船暈の一點であるが、是は適當な攝生法を守つて在り、又少しく忍んで時々海に出ると云ふと、遂には慣れて、隨分船に弱い人でも、後には海上を遊航することが出來るやうになるものであるからして、是非此事は衞生上の點から言つても廣く行はれるやうになりたいと思ふ。

○旅行の場所　總て娯樂の爲にする旅行は、海陸を問はず餘り道路の險惡でない、氣候の穩和な所を擇んで風土病などの恐のない所に行くがよい。飮食物も成るべく不自由のない所に赴くがよいけれども、登山などをして其爲に食物の缺乏があると云ふやうならば、近頃は罐詰其他食物の貯藏品が十分出來ることであるからして、さう云ふ携帶に便にして安心な物を携へて往くがよい。

○旅行の注意　又食物は成るべく旅行先で生な物を食べぬやうにし、煮熟した物のみを用ゐ、飮料には湯茶の如き一旦煮た物を用ゐるがよい。衣服は常に溫かく着て居る方がよい、殊に夏冬共に肌着は毛布フランネルの類で造つた物を携へるがよい。元來用要があつて旅行するのでないから、夜中の旅行とか或は早朝から早立をするとか云ふことは先づ止めるがよい。けれども盛夏の頃日中の炎熱に堪へ難いと云ふやうな場合には、成るべく朝の中旅行するのがよからう。旅舍を選ぶならば、清潔で廣い所を撰ぶがよい、道連は遠慮斟酌の要らないやうな旅伴があつた方が極めて娯樂旅行には妙だらうと思ふ。

◎軍國女子の任務

愛知　水谷みきを

日露の交涉破裂して、畏くも大詔は下りぬ。我等四千有餘萬の同胞、苟も身を軍籍におくものは只管敵の鋭鋒を挫かんと誓ひ、薪伐る山賤より漁燒く海士に至る迄、老も若きも己がしゝ業を勵み、僅ばかりの賃銀を得て捧ぐる其心ぞ殊勝なる。我等婦女なりとも、生を此土に受け、身に餘る皇恩に浴しながら、國家の大事に際會して、豈身を逸樂に置くを得んや。即、身の自由を得る者は戰地に入りて、病兵傷兵を看護し家庭を離れ得ざるものは遺族を慰問扶助し、或は國債に應じ、戰場に向ふ武夫にも勝る心もて、朝は夙に起き、夜は闇に寢れ、專心業を勵み、日々の調度を節して軍費の一端を捧ぐるは軍國婦人の任務なり。畏くも　皇后陛下には御手許の貴重品を日本銀行へ御拂下相成りたりと承る。最有難き事にこそ。之を承りては尚一層本務に力を盡して、聊か大詔に應じ、一は以て皇恩の萬一に報い、一は出征軍人が後顧の患なく、忠勇無二の大和魂を世界に發揚し益す國威を輝かして、敵の降伏を待ち、以て東洋、否、世界の平和を圖るべきなり。豈婦女の任務輕しとせんや。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

家政

家政法規　六　（禁轉載）

◎裁縫（つゞき）

○被風

△被風の竪衿下は着物の衽下と同樣にて、通常六寸とす。但し子供物は衽下よりも七八分多く下ぐべし。

△小衿の丈は竪衿下の二倍、小衿の幅は小衿の丈の三分の一、小衿の左右の丸みは小衿の丈の五分の一、或はそれに四分許加へたるものとす。

△竪衿幅は衽幅と同樣なり。

△竪衿と小衿とには、必ず別切を心に入るべし。綿など入れざるものとす。而して心の切厚きものは一枚、薄きものならば二枚を用ゐるべし。

○夜着寸法

	大夜着	中夜着	小夜着
袖丈	一尺七八寸	一尺五六寸	一尺四五寸
身の丈	五尺四五寸	四尺八九寸	四尺五六寸
衿肩	三寸	三寸	二寸七八分
褄下	二尺二三寸	二尺	一尺八寸
衽下	六七寸	六七寸	六寸許
半衿丈	三尺以上	三尺	三尺
肩當	三尺七八寸（木綿巾ニテ）	三尺七八寸	三尺五六寸
綿	二三貫目	一貫七八百目	一貫五六百目

○蒲團の綿は一布に付き三百目の割合に入るゝを普通とす

○蒲團の寸法は、五布蒲團は丈五尺以上、四布蒲團は五尺内外、三布蒲團は一端を三つ切にするなり。

○蚊帳の寸法は四六は、丈五尺、七八は丈五尺五寸、七十は丈六尺位とす。

○蚊帳の縁切は幅三割とす。

○針は必ず數を定めて使用すべし。針仕事を仕舞ふ時は慥に數へて、定めの數に合ふや否やを調べ、碇と針山に挿し置くべきものとす。

○解き物を爲したる絲は、取りおきて、長きは再び縫絲とすべく、短きも繼ぎ得らるゝはつなぎて、手繊の緯とすべし。

○火熨斗は先づ反古にあてゝ加減を試みたる上にて布帛にかくべし。又縮緬の類は火熨斗にて摺るべからず、押へては取り押へては取りすべし。

◎洗濯

○衣服は甚しく汚れざる内に洗濯すべし。深く汚れに染みたるは、洗濯に長時間を費し、又其地質を損すること甚しきものなり。

○洗濯用の水は、清き河水、又は水道の水を可とす。井水には鑛物質を含むものありて、爲に石鹼を多量に費し、甚きしは布帛に黄色を帶ばしむる事あり。

○洗濯物は惣べて強く絞るべからず、縫目いたみ、色物は色を損すべし。殊に毛織物即ちフランネルなどは絞らずして乾すべし。

○色物を洗濯するには、明礬少許を入るれば、色の褪めざるものとす。

○絹布を洗ふには、白色の石鹼三と、蜂蜜三と、燒酎二十との割合にて混合した液を作り。柔かなるブラッシュを是に浸して、絹布の表裏兩面を摩擦し、然る後、清水中に一時間許浸し、更に微溫湯にて濯ぐべし。之を干すには、絞らずして布の兩端に糸をつけ、柱に結びて長く引きのばし、生乾の時取下して、强からざる火熨斗を掛くべし。但し此仕方は普通の板張よりも、能く絹の光澤を保つものと知るべし。

○フランネルを洗ふには、微溫の石鹼水に少許の曹達を入れたる液を作り、洗ふべき布を板の上に廣げ、ブラッシュを液に浸して摩擦し、後暫く清水中に入れおき、更に微溫湯にてすゝぐべし。乾すには絞らずして竿又は綱にかけ、乾きたる後霧を吹きて火熨斗をかくべし。

○麻布は簽又は板に張るべからず、竿にかけて日蔭にて干すべし。生乾の時、十分に皺をのし、疊みて壓をかけ、暫くおきて、再び竿にかけて乾すべし。

○糊は晴曇によりて剛柔の相違を生ず。されば天氣を見て糊の濃淡を加減すべし。

○水のかゝりて出來し汚點は、汚點の周りを少し濕らせて、其上に西洋紙をのせ、上より火熨斗をあつべし。

○汗の汚點はアムモニア水にて洗ふべし。但し其他の汚點は蓚酸にて洗ふをよしとす。

◎各地特種の料理

○李の砂糖漬　　札幌　愛讀者

李をよく水にて洗ひたるを桶又は瓶に入れ、鹽をふり、壓石をして置きます。紫蘇の葉の大きい處を取り、水にて洗ひ、揃へて鹽水を煮て冷したるに漬け、同じく壓石をかけ、鹽のつき浸みたる頃笊にあげ、李の水氣を去り、割れ目に庖刀を當て、割りて核を取り去り、其の處へ砂糖を入れ、合せて、前の紫蘇にて卷き、瓶によく並べて入れ、ざッと壓石をかけて、其の上を澁紙にて、空氣の流通せぬ樣に蓋をして置くのでございます。鹽は李一升に付き一合弱の割に、砂糖は大抵の見計らへて宜しう在います。梅より酸味が少なう在いますから、一寸お茶受けにもなりまするし、中々風味が宜しいものであります。

○湯吸物　　若松市　愛讀者

五島鯣を水に漬け、能く濕けたる頃これを洗ひ、四角または三角にても隨意に切り、上に網の目の如く切目を入れ、別に瓶に醬油と酒とを鯣の上に少し乘る位にして、ざつと押をかけ、一夜置きて其の汁を取り鍋に入れ、一度煮立てゝ冷し、麹を振りて前の鯣を漬け、紙にて能く蓋をして置きます。別に菊を採り、餘り開かざるを水にて洗ひ、よく水氣を去り、瀨戸物の平なる物に味噌を敷きて、上に紙を載せ、其の菊をならべ（私の地方では多く金松葉と申す菊を用ゐます）又紙を敷きては味噌を載せ、何程にても斯くして漬け、風の當らぬ樣に蓋をして置きます。食する時には鰹節を削り茶碗に入れて、前に漬け置きたる鯣を一二切入れ、其の上に菊を上向きに載せ、鯣の汁を少し入れ、能く〳〵煮立ちたる湯を其の上より入れ蓋をして暫時置きまするると、鯣に柔かになりまして、齒の惡い方にも頂かれます。又不意に來客などありて、急に差支へたる時など、一寸間にあひます。尚吸口には柚皮など宜しう在います。

○三五八　　福島縣　愛讀者

糯を磨ぎ蒸籠にてよく蒸し、大なる器にあけ、少し冷えたる處へ（餘り冷えてはよくありません）鹽と麹とを入れて交ぜ、蓋をして置きます。斯樣に致して十日計り交ぜますと、今度は能く蓋をして、上を澁紙か何ぞできつく糸にて結びまして仕舞ひ置きます。而して茄子・胡瓜などの出まする節に、別の器に前のを少し分けて、其の中へ野菜類を生の儘にて漬けます、朝漬けにしたならば、翌朝に食しても差支へ在いません。色も少しも變らずして美しく、味も中々宜しうございます。寒に製し置きますると、幾年でも置くことが出來ます。右の拵へ方の割合は鹽三合に麹五合糯八合に致します。これらから三五八の名がつきましたでせう。

◎日常の心得草

麥藁帽子の洗濯法　先づ漂白粉（大抵の藥店にあり。一磅十錢位）の十匁程を木綿布に包み、四升程の水を滿ちたる桶中にてよく揉出して薄き白水となし、此液中にリボン及び裏革を取外したる麥藁帽子を、充分浸すこと三時間位にして取出し、更に別の同容積位の桶に清水を充て、これに硫酸或は鹽酸の三四十滴を加へて攪拌したる中に再度前の帽子を浸す事約一時間にして取出し、これを大なる盥に水を充分に入れ、亞硫酸曹達の少量を溶解せる物の中に、五分間位浸しおき其後清水にて洗滌す。尚此上に硫黃にて薰蒸し、次に又清水にて洗ひ、これを乾燥せしめ、リボン及び裏革を附着する時は殆んど新調の物の如く見ゆるなり

◎泰西婦女訓

◉空言を以て敎ふる勿れ百の空言は一の實行に如かず一言を曰へば一事を行ひ實行以て感化を計れ

◉書籍にて得た知識のみにて事を判斷する勿れ可成實地に就て解釋を試み思想にのみ耽るべからず

◉好き模範の人を求むるを怠る勿れ貴き性格の人と相倚るゝは恰も自己を高所に引上ぐるに等き也

◉危難に際して鈴を鳴らせば婢僕の到るものと思ふ勿れ勇氣を出し沈着に事を處して狼狽する勿れ

◉誘惑に對し之を斥くる勇氣を失ふ事勿れ之を斥くる法は多くの思慮を要せず「否」の一言にて足る

◉金を借る事勿れ借らざれば晩食を待ざるとも事ろ晩食を廢して眠につき新しき運命の到來を待て

◉一時に多くの語を出し何事か悔る勿れ未發の言は人を支配し得へく既發の言は人に支配さるゝ也

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人會記事

◉評議員會　去月廿二日第四水曜日に於て例會を開く出席者は會長岩倉久子理事大山捨松子評議員九條惠子松平八百子松平雅子松平須磨子阿部籠子清浦錬子千家俊子波多野爲子濱尾作子中山幸子關郁子仁杉歌子堤常子松浦島子鄭濱子佐藤猶子長井とし子南鄕柳子藤井とく子の諸氏にして擴張上につき評議を爲せり

◉評議員會開會期日　本年は暑中休暇を廢し第二第四の水曜日には必ず午前九時より開會する事に定めらる來七月分の日割は左の如し

七月十三日（第二水曜日）七月廿七日（第四水曜日）

◉理事相談役會　去月卅日本部に於て理事相談役會を開き法人組織の義につき相談を爲したり

◉野中遊說員出張　本會遊說員野中彌知子氏は愛知縣支部內遊說の爲去月廿七日出發せり約三週間遊說の筈なり

◉本會への寄附　前號に披露せし以後本會への寄附左の如し

金貳百五拾圓　公爵夫人　一條悅子
金百圓　伯爵夫人　松平充子
金五拾圓　牛込　本山興一
金五拾圓　長野　小田切うん外六名
金五拾圓　三宮子爵夫人取次　ツリオルン、ラウリン
金五拾圓　本所　相撲協會代表者　根岸治右衛門
金貳拾五圓貳拾錢　長野　山崎高七外七名
金參拾圓　廣島　三阪ゆき子
金貳拾參圓　高輪御殿　村上きく子外五名

以上寄附の內本山興一氏の分は母堂死亡の際葬祭の費を節約し本會へ寄附すべき旨の遺志により特に寄附されたるものなり

◉英國人一萬七千圓を本會に寄附す

香港在住の英國人諸氏は日露開戰以來我邦に熱心なる同情を表し先般來日本の出征軍人遺族救助の目的を以て義捐金を集めつゝありしが此程本邦駐箚英國公使マクドナルド氏の手を經て本會に金一萬七千圓を寄附せられたり左に英國公使より岩倉會長に宛てられたる書面を譯載す之に對し岩倉會長より謝狀を送られしが本紙締切間際につき次號に掲ぐ

拜啓

余は玆に謹んで別紙爲替劵金一萬七千圓を御前に捧呈致候是は此度の戰爭に於ける貴國の戰死者の遺族扶助の爲にとて在香港の英國民の醵金致したるものに之れあり候令夫人等の管せらるゝ愛國婦人會は此遺族救助の事に當らるゝと信じ候につきさし出申候　余は吾國皇陛下の臣民の此醵金が幾何か貴國の勇悍なる將士の遺族の不幸を輕くするを得べしと信ずるものに御座候恐惶謹言

千九百〇四年六月卅日　クラウド、マクドナルド

岩倉公爵令夫人　御前に

◉新たに購入せる事務所　卅四年の三月本會が孤々の聲を擧げたる時は日本體育會の門番小屋を借受け卓子一脚椅子一個の外には何者をも所有せざりしが本會の主旨の美しき爲め江湖の同情を得僅かに三年の短日月の間に全國會員十三萬餘となり本部の評議員の數にても實に二百餘名に過ぐ從て事務員の數も增し會議室の必要も感じたるも可成本會の儉約主義を守り體育會の一部を借受け漸くに間に合せ來りしが戰後一層擴張の結果新たに廳舍を作るの必要を感ずる事切なりしが幸に體育會が他に移轉するを以て最も廉價に之を讓受け全部我が會の所有となせり依て新たに周圍を塗替へ玄關の正面に燦然たる銅製の本會の徽章を揭げ其下に橫額にて「愛國婦人會」の大標札を打てり帝都の中央麴町牛ケ淵公園內に此慈善的公共建物あるは帝都の名所に一の美觀を添へたるものと云ふべし建物は西洋二階建にして百五十坪の建坪なり

◉戰死者の慰問と會葬　本會は戰死者の遺族を救助するのみならず之を慰問し且つ戰死者の葬儀の節は職員會葬するの規定にて且つ會長より必ず弔意狀を送る定めなり地方に在つては支部長の手を經て送達する筈なり本部に於て今日まで慰問幷に會葬せられたるは左の如し

海軍大佐林三子雄氏に對して大山谷の兩理事清浦濱尾山脇の三評議員松崎笠井の二幹事海軍少佐眞崎助一氏には清浦松平八百子、戶田極子、戶田時子、中山の五評議員守田、淸水、前田三幹事步兵一等卒加藤直太郎氏仝小野福太郎氏仝吉田壽氏には大嚴濱尾仁杉評議員步兵一等卒大野直次郎氏には弘田評議員步兵一等卒立木延四郎氏に松平須磨子服部幹事同一等卒高野藤太氏には佐竹環子氏田口さだ氏同一等軍曹長雙金藏氏には高木鍈子氏佐藤介子氏同伍長阪本良次には辰野秀子氏新山雅樂子氏同伍長中村品次郎氏には佐々木芳子氏棚內ゑん子氏同上等兵大澤儀氏一等卒江間鋳三郎氏同渡沼辰三郎氏は渡邊稲子氏一等卒金谷三氏同增田金太郎氏は伊澤千年子氏上等兵藤田正次郎氏には佐々木芳子氏二等卒齋藤重吉氏には麻生繁子小浦雅子上等兵中村治兵衛西垣金三郎氏には辰野秀子新山雅樂子軍曹小林孝吉氏には森村菊子上等兵佐藤惜三郎氏には中井かれ子同川崎與惣次郎氏には長井とし子同三河孝次郎氏には室田せい子同田中銀三郎氏中井かれ子步兵大尉山田雅信氏には大山理事南鄕關の兩評議員上等兵杉山金太郎氏には鬼地惣子氏等なり

◎各地支部の狀況

◉香川縣支部　同支部にては軍隊輸送の節接待を引受け待遇に盡力しつゝあるよしは前々號の紙上にも揭載せしが其後第二回の輸送ありたるとき支部職員は交通不便なる土地に宿泊し勞苦を厭はず出征軍人の慰藉につとめたりと云ふ

◉北海道支部　同支部總會は本月十日開會する事に定め夫れ〴〵通知を發したるよし

◉茨城縣支部　同支部にては支部有志會員相謀り養蠶を爲し其費用を恤兵部に寄附したるよし

◉京都支部　同支部にては事務所を富小路二條下る所に移轉し工事落成につき去にし一日午後一時より左の順序により移轉式を執行したるよし

第一鈴着席▲第二鈴開會の辭▲第三鈴支部長の祝辭。主事の報告。幹事總代の祝辭。評議員總代の祝辭。相談役總代の祝辭。委員總代の祝辭。閉會▲第四鈴餘興日露戰爭談

◉高知支部　同支部にては兼て本會より所定の會員門標を揭ぐる事に定め夫々調製の上會員一同に配布せしよし

◉熊本支部　同支部の例會は去月廿日開會出席者百五十三名數人の演說もありて盛んなりしと云ふ

◉愛知縣支部　愛知縣知多郡支部幹事なる上野園子氏は本誌が愛國婦人會の主旨を言明すると同時に一般婦德の涵養に努め特に時局に對する有益なる記事多きにつき會務擴張の一端として各町村の事務員達に配布し廣く一般婦人に閱覽せしむるの事を企てられ先頃より多數取纏めて當方に注文ありしが既に其郡內だけにて本誌購讀者七百人に及びたるは本發行所の深く感謝の意を表する所なり

◉滋賀縣支部　同支部にては有志者の催しにて傷病歸還兵に對し扇子を寄贈せんと兼て近江扇子會社へ注文の處此程出來上りたるよしなるが扇子の表面には宣戰の詔勅を印刷したる優美のものなりと云ふ

◉三重縣支部　同支部にては來る十日總會を開く本部よりは評議員出席せらるゝ筈の趣きなり尚總裁殿下より御令旨を賜はるよし

◎會員美談

軍馬に負傷したる兵士を犒い迅速出發の命を受けし兵士を勵ます

香川縣支部にて出征軍人輸送接待の際に當り或日の事とか何物に驚きけん十數頭の馬は俄かに狂ひ之れを取押へんとするに輸卒の意のごとくならざるもの多く或は蹄を以て之れを傷け或は腕を嚙み遂に輕重傷患者六名を出すに至れり依て俄に接待所の一部に於て假病室を設け本會役員は直に繃帶看護の手傳を爲し又は附近の商店より鷄卵夏密柑等を購來り患者に與ふる等斡旋至らざるなし其內二名は稍重傷なりし爲め乘船を停止せられ其補欠として俄に出發の命を受けたる二兵卒ありしが事突嗟の間に起り病卒の服具を着用する等何の準備もなかりしかば會員は見るに忍びず持合せの「ハンカチーフ」紙の類を取集め且各自醵金を爲し輜重兵大隊長小笠原大佐に之を贈與せんことを求めたるに大隊長は之を快諾し出發に際し會員の面前に二名の兵卒を正立せしめ壯嚴なる語調を以て之れに訓示して曰く

汝等は本日俄に補缺として出征することゝなつたそこで此處に御出になる御婦人方は知事の奧樣始め貴き方々である汝等が突嗟の場合であるから定めし手當も薄いであらうと思召してこの包を汝等に賜はつたのであるこの包の中には御婦人方の精神から出たる深き御慈愛が籠つて居るのであるそこで余はこの御厚意に對し喜んで之を御受して特に汝等に之を與ふるのである（包を二人に渡し）その包は汝等が一生涯にまたと再び得ることの出來ぬ賜であつて又この度何萬の出征兵卒中斯樣な結構なる賜物を戴いたものは外にない實に難有いことで余も大に皆樣に謝することであるそれゆゑ壹錢たりとも無駄に費しては相成らぬ汝等がこの御厚意に酬ゆるのには平素申聞しある通りよく規律と命令を遵守して義勇奉公の四字を忘れず一身を捧げて充分に務めて歸り皆樣に之を御禮にせよとて丁寧に兵卒をして敬禮を爲さしめたり言々句々肺肝より出て眞實面に顯れて說諭せられたれば兵卒も貴婦人も皆感泣せざるはなかりき此擧卒爾の事ながら皆至誠の餘に出し者にして一般兵員の鼓舞奬勵上多大の利益ありとて傳て美談とせり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

好機不可逸

本年九月我社事業は將に第三期に入らんとす、而して我社定欵の規定に依れば、第二期社員は第三期以後の社員に比し毎年高率の利益配當を受くるの權あり、然るに此第二期は**來八月末日**を以て去て再び還らざらんとす、申込より體格診査、通知、保險料領收、保險證劵履行に至るまでの日子を控除すれば、餘す所長しと云ふべからず、有志の諸君幸に此好機を逸する勿れ

定欵保險料表等通知次第進呈す

東京市日本橋區新右衛門町
第一生命保險相互會社
電話本局一七三七、一三七三

婦人最良薬

子宮病血の道 産前、産後の諸症にて種々の藥を用ゐて其効なく久しく病床に苦しむ人は本劑を試みよ

如何なる難病も二三週間に**全治**す

中将湯

●詳しき効能は大廣告の時御注目ありたし

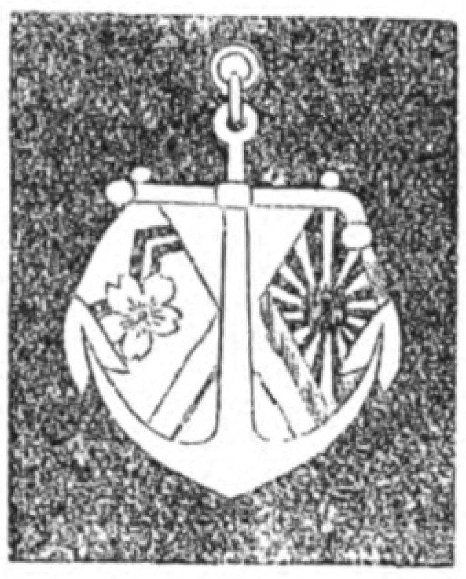
定價　一日七錢五厘、三日廿錢、一週四十五錢
二週八十五錢、三廻り一圓二十五錢

●本舗へ御注文の方は病人の容躰御申込あれ

本舗　東京日本橋通四丁目　津村順天堂
大阪堺筋鹽町北入　津村順天堂

中将湯は全國各藥店にあり

出征紀念章



玉寶堂

電話特九百六十五番
下谷千二百四十四番

代理店　神田松枝町　**福井甚藏**

●藥の信用●効能の確實にあり

岩浪めぐすり
天下唯一
壮眼水
東京市日本橋區新材木町十三番地
本家　岩浪長藏
賣捌所は全國至る所の藥舗賣藥店にあり

たんせき
一と通の妙薬

藥價
二日分五錢
五日分十錢
十日分二十錢

登錄商標　金線草丁幾

●肺病●るゐれき●結核性諸病に特効ある最新發見藥なり

（注意）説明書御入用ノ方ハはがきニテ御一報アレ進呈ス

東京神田鍛冶町卅番地
製藥本舗　**東光堂**

特約販賣店
東京市日本橋區伊勢町
藥種貿易商　**熱田彦兵衛**
仝日本橋區室町三丁目
藥種貿易商　**島田武兵衛**

定價一磅入金三圓（遞送金廿錢）半磅入金壹圓五十錢（遞送費十五錢）粉末一號入金壹圓（遞送費十錢）

無毒　クイーン白粉
艶美　クイーン水

本舗　日本橋區新和泉町　**花陽堂**

軍隊慰問品及恤兵品寄贈者へ謹告

祝捷扇種々

出征軍隊恤兵品及軍人慰問品トシテ扇子御寄贈の時候柄至極適當品ノミナラス凱旋勝利ノ曉ニモ永ク紀念トシテ所持致サル可ト存候此際弊店ニハ一層品質ヲ精撰シ廉價ニ調製仕候ニ付キ多少ニ不拘御用向被仰付度希奉候

營業品科目
和洋染糸
諸本練糸
生糸結束
組物扇子

東京市日本橋區通旅籠町
㊅
下村糸扇店
電話浪花 六百五番 六百六十三番 八百三十三番

目　夏半衿　ゑり帯揚

新柄特に廉價

御浴衣地　縮木綿絽縮○眞岡別織 紅梅織○島縮○珍柄多く
○帯片側地○夏單帯○裾模様け出し○絞り兵兒地
○すゝめ形○ゑり治形○紀念形まげ入おろし小賣

新橋竹川町十二番地　電話新二〇二七　本店　**ゑり治**
神田表神保町壹番地　電話本局九五二　支店　**ゑり治**

登録商標　麝香獣印
ムスク香水
本石町四　芳香藥種問屋　松澤商店

軍人家族諸君に告ぐ

當會は東京市内出征軍人家族の職業なき婦女子に裁縫、洗濯、等の職業を授け相當の賃金を得せしめ生計を補助する爲に設立したるものなるがゆゑ就職冀望の方は至急來會の上申込ありたし

赤坂區檜町十番地
軍人家族授産婦人會

女學通信教授　講義録再版出來せり

本會は小學卒業後進んで高等女學校に入學し難き事情ある女子に居ながら諸名家の講義になれる女學の講義録を講習せしむ●本會は忠實に女子教育に貢獻する事茲に十年講習者已に參萬餘人に達す●本會は僅少の學費にて大冊の講義録を配布し疑義の質問に答へ習字諸學の清書を批評する等女學校教育と同等の學力を得しめん事を期す●會費は毎月前期貳拾錢後期四拾錢別に入會の節前期貳拾錢後期四拾錢の束修を要す●葉書又は電話にて請求あれ直に會則を進呈す

東京麴町區下二番町三十七番地
大日本女學會
電話番町千三百三十番

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

戰報

○旅順口の強行偵察　五月十三日午後十一時三十分、山本大尉の指揮せる艇砲水雷艇隊は第三驅逐隊及び第一第十四第十六水雷艇隊に掩護せられて、更に旅順口の强行偵察を行ひ、敵に發見せられずして豫定の位置に巧に機械水雷を沈設した。

○小平島附近の砲戰　同十日敵艦ノーウヰク及び驅逐艦十隻が、旅順口の方から我士屋第三驅逐隊及び第一第十四第十六水雷艇隊に向つて突進して來たので、我は之と應戰しつゝ漸次退却して敵を誘ふたが、敵は遂に引返した。

○得利寺附近の激戰　遼東半島上陸軍は同十三日普蘭店大沙河の線を發して右方縱隊は大沙河に沿ひ、中央縱隊は鐵道線に沿ひ、左方縱隊は復州街道の呉家屯、及び四川溝大河崖に通ずる道路に沿ひ、騎兵部隊は皮子窩熊岳街道を前進した。同十四日左縱隊は那家嶺附近に、右及び中央縱隊は相連繫して得利寺の南方約十二キロの趙家屯大平溝互の線に達して、敵兵が大房身より北部龍王廟に亘る線を占領して居るを知つて、更に進んで王家屯廠家屯の線を占領して、午後三時頃から宗日沒まで砲戰した。同十五日軍は右縱隊をして家屯から溫家屯北方高地に亘る線を固守せしめて、中央縱隊をして夜間を利用して廠家屯附近から大陽溝西方高地に前進さした。午前五時三十分砲戰を開き、漸次激烈となりつゝある間に中央縱隊は苦戰しつゝ前進した。此時復州方面から急行した歩兵及び砲兵より成る一隊が協力して、午前十一時に大房身附近の敵兵を驅逐した。然し右縱隊の右翼隊方面の敵は優勢で、我軍は屢危急を告げたが、丁度騎兵部隊が到着して、猛烈に敵の左側背を脅威したので、敵は全く包圍せられた。然もなか〳〵屈せず、又敵の後續隊も到着したらしく、屢頽勢を挽回せんと試みた。然し遂に我軍の攻擊力に抗する能はずして、午後三時頃から退却し始めて遂に潰亂した。我軍は地形上猛烈なる追擊を行ふを得ず、遂に此夜を戰場に徹した。此日左縱隊の主力は高家屯附近で、北方に對して陣地を占領して、軍の左側を掩護しつゝあつたが、午後一時頃に敵歩兵七八百が龍口以西に退却するものに對して、大に損害を與へた。敵の死屍は右縱隊の方面だけでも約六百で、同十七日夕までに我軍の埋葬した敵の死體は千五百十六名で、尚續々增加する模樣であつた。敵の軍旗及速射砲十四門を鹵獲し、第四聯隊長以下將校六名、下士卒三百名を捕虜とした。我軍の戰死將校七名負傷將校四十三名の外、死傷總計千百六十三名。

○常陸丸佐渡丸の遭難（浦鹽艦隊の來襲）同十五日午前六時半常陸丸佐渡丸の兩船は下の關海峽を通過し、相竝んで航進中、同九時五十分頃、福岡縣宗像郡沖の島附近で敵の軍艦三隻に出逢うて砲擊せられ、次いで包圍せられた。常陸丸は爲に機關破裂して、多數の死者を生じ、次いで第三層より出火した。そこで聯隊長須知中佐は軍旗を燒き、旗竿を碎き、卒等に對して、汝等は海上を泳ぎ遁りて、此旨を報告せよと命じ、間もなく敵彈の爲に戰死した。他の將校も大部は割腹又は短銃で自殺した。船長事務長等は海に投じ、監督將校も戰死した。敵は更に第三回の急射擊を行うて、常陸丸は全く沈沒した、佐渡丸も同じく近距離で十數發の砲擊の受けたが、敵は一時砲擊を中止したので、船を停めて監督將校は敵艦に行つて交涉し、四十分間の猶豫を得た。又敵は非戰員を自艦に收容するを諾したので、船員を送つたけれども、一等運轉手（英人）の外は、乘船を許さず、且與へた間時の經過せざる中に、敵は兩側から水雷を發射した。そこで各乘員は凡て海中に投じ、殆ど皆溺死した。此水雷は吾機關部に命中したが、船は全く沈まず、敵は急に北方に退却したので、一同出來得るだけ避難すると決意し、浸水を防遏し、遂に三十餘時間海上に漂流して、同十六日午後一帆船を發見して、全員を之に移し、下の關に向ひ航行中伊勢丸日の丸二船に救はれて、一同門司に着いた。此日和泉丸（朝鮮より歸航中）も擊沈せられ、乘組員の多數は露艦に收容せられた。常陸丸の乘組は兵員千九十五人其他に百二十人、馬匹三百二十頭で、僅に六十餘名の生存者のみであるが、佐渡丸は（乘組兵員の數は不明）七百餘名の生存者があつたのは不幸中の幸である。

此變災に際し、上村第二艦隊は十五日午前八時哨艦對馬の無線電信に接するや、直に水雷艇隊を急行せしめ、對馬壹岐間の水道を警戒し、本隊は對馬南端を經て急航した。哨艦對馬は絶えず敵艦隊と觸接して、敵情を報告するを力めたが、天候險惡且つ濛雨の爲に、本隊は敵艦の所在を知ると雖く、其夜も艇隊は敵を搜索したが目的を達せず、十六日は天候回復したが、敵影を認めず、十七日に至りても遂に會戰するを得ず、遂に十九日迄四晝夜の間搜索に力めて、何の效もなかつたのは、誠に遺憾な事であつた。

○敵の逆襲　同二十二日歩騎砲兵より成る敵兵は、賽馬集から前進して、雙陽過門に在る我一部隊を攻擊したが、夜になつて新開嶺方向に退いた。鹽田少佐は此戰で戰死した。

○旅順口港外の海戰　聯合艦隊は同二十三日旅順口外で敵艦隊を攻擊した。此日早朝から敵艦隊（戰鬪艦「ペレスウエート」「ポルターワ」「セワストポリ」裝甲巡洋艦「バヤーン」巡洋艦「パルラーダ」「ヂアナ」「アスコリド」「ノーウヰク」）は數隻の掃海汽船を先頭として、漸次に港外に出んとする模樣で、封鎖勤務の我哨艦は之を警報した。そこで各方面の諸隊は直に準備を整へ、特別任務に在る艦艇の外は、悉く旅順口に向つて急航して、豫定の位置に集つた。是より先第一驅逐隊（司令海軍大佐淺井）第四驅逐隊及第十四艇隊等は港外で敵の樣子を監視して居つたが、午前十一時頃に敵艦隊は戰艦「ツェサレーウヰチ」「レトウヰザン」「ポベーダ」を加へ、全力悉く港外に出て、數多の掃海船は我機械水雷敷設面を航破して、漸次に通路を開かんとするを見て、屢之を妨害し、午後三時頃第四驅逐隊第十四艇隊は此掃海を掩護せる敵の驅逐艦七隻と砲戰して、之を擊退け、其一隻は我砲彈の爲に火災を起し、港内に逃げこんだ。敵は掃海を急行して、「ノーウヰク」を先頭として掃海汽船の後について沖合に出て來た。午後四時過、第三戰隊は漸次に之を南方に誘うて、午後六時過に明に敵艦隊を遇岩の北西約八海里の處に見る樣になつた。午後七時半彼我の距離一萬四千メートルとなり、我艦隊は敵の隊列に對し、倒にイの字を畫いたが、午後八時過に、敵は針路を北に轉じて、港口に向ふ模樣であるから、我艦隊は一齊に回頭して、横陣を以て、之を追ふた。丁度此時日沒に近く、水雷攻擊に好都合なるを以て、午後八時二十分、司令官は逐驅隊水雷艇隊に襲擊を命じ、同時に艦隊は回頭して、單縱陣に復した。午後九時三十分の頃、第十四艇隊は港外約五海里の處で敵艦隊の後尾に對し、既に第一の襲擊を試み、第五驅逐隊も之に次いで襲擊した。敵は倉皇序を亂して港口に向つたが、午後十時半頃港外蠻子營砲臺の前面から、城頭山の下に投錨した。是より終夜我驅逐艇隊等は敵の砲火と、探海燈を冒して、天明まで前後八回餘の襲擊を行うた。其中若林少佐の指揮せる白鷹は「ペレスウエート」型と見えたる敵艦の艦首に對し、斜に二個の水雷を發射し、同艦を擊沈さした。翌朝港外を偵察して、敵艦隊は數の上で「ペレスウエート」型戰艦一隻を減じ、外に「セワストポリ」型戰艦一隻（「ヂアナ」型一等巡洋艦二隻だけは、自力にて航行し得ざることを認めた。我は第一驅逐隊の白雲が敵彈に士官室を破られて、火炎を起し、同時に舵機を損じ、下士卒三名戰死し、宮川少軍醫外下士卒二名負傷し、第十四艇隊の千鳥外二艇が少許の損害を受けたるのみて、各隊の諸艦は皆無事であつた。

○三道阿附近占領　同廿三日拂曉大孤山上陸の我軍の一部は三道阿附近を占領した。

○分水嶺占領　同上陸軍は同廿七日午前五時から十一時迄の激戰で分水嶺（岫巖の西北方約九里）を占領した。敵は潰亂して析木城方向に退いた。大庭少佐戰死し其他死傷百名内外ならん。

雜報

◉英國の遺族救恤基金　林公使夫人及び其他日本婦人の發起に係る救恤基金は全國一般に非常なる好意を以て迎へられ去る二月中旬發表以來五月末日迄凡三ケ月半に義捐金額拾五萬圓を超え其内には知名の士女もあり有名なる學者ケルビン卿の如きも亦義捐者の一人なり又中には軍艦初瀨及び吉野乘込員の遺族に仕向くる樣にとの附言をなすものあり或は一部は赤十字社に一部は遺族基金に指定せるもありと云ふ

◉敵は降服せずと云ふ　巴里ペチー雜誌揭載の要

彼得堡近信に曰く露帝は旅順口に在るステッセル將軍に下したる勅令を發布したり該勅令に曰く若し旅順の砲臺にして日本軍の爲めに占領せらるゝ場合には其防禦及び重要なる建築物は悉皆破壞すべし若し卿等斯る危機に際會せば其船隊は一部の危險を顧慮せず其全力を傾注して一方の活路を開き以て浦鹽に到着す可く如何なる場合に於ても決して敵に降服する勿れと

◉敵の我軍稱贊　遼陽六月八日發電報に曰く日本人に對し露人が全然個人的感情を有せざるは注目す可し是れ自國が日本よりも優秀なりと自覺せるに依るやも知れず疑もなく露人は最後の勝利を深く信じ居れりペトロパウロウスク號の不幸に對し日本人の同情を表したるは全く露人の豫期せざりし所にして此事延いて露人をして其戰ふ敵が義氣あるものなることを確信せしむるに至れり之を證明する出來事此程當地に於てありたり即ち某日將校若干其常に赴く割烹店にありて戰ひを談し且つ日本艦隊の此程破りたる災厄に付き語りつゝありしが突如として一將校は勇敢なる日本人に對して喝采を唱へんことを提議したるに他の將校は直に之に和して熱心に喝采したりと

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

醫士 岡部清之輔先生著

菊判紙數百四十頁　正價四十五錢　郵税六錢

家庭衛生新書

『目錄の大要』衣服に就て數項◎飲食物の種類、滋養の如何及調理法◎住居、土地の選定、構造◎運動入浴、冷水摩擦法◎各地海水浴及各温泉分析所在地並に病症効用◎睡眠◎婦人衛生、月經、姙娠、分娩、産後◎小兒の攝生◎家庭看護法◎消毒清潔法◎傳染病豫防心得及衛生諸規則他數項◎本書は無病健全長壽の要訣たる衛生法につき通俗平易に詳記したるものなれば四民の均しく一讀を要するは勿論就中家庭の主婦學校職員警察官市町村役場衛生組合員諸氏には缺くべからざるの要書なり

○最近之肺結核療法　北里博士閲　柴山五郎著　價八十錢　郵税六錢

醫學士馬島珪之助閲　○普通療病新書　附處方法調劑　關藤治郎編　正價六十錢　郵税六錢

○臨床看病法　關氏編纂　正價三十錢　郵税四錢

○通俗實習救急法　竹中成憲　關以雄著　正價卅錢　郵税四錢

○實用繃帶學　精圖七十餘　小池軍醫著　價五十五錢　郵税四錢

發行所　神田區鍛冶町（電本九四九）誠之堂書店

產科婦人科楠田病院長　楠田謙藏先生閲並序　婦人科專門醫渡邊光次先生著

拾四版

普通姙娠論
附り 姙婦の攝生

本書は久しく產科婦人科に從事して經驗に富める專門醫渡邊先生の著にして生殖器の解剖、生理、衛生を始めとし生殖に影響する全身の疾病、婚姻並婚姻後の注意姙娠並姙娠後の攝生に至る迄廿三章、百廿項を設け悉く網羅して平易簡明に說述し加之精巧なる石版圖書數十葉を挿入し振假名を付せられたれば苟も自己の健康に注意し系統を蕃殖し**強健の子孫を得ん**と欲する諸君は男女を問はず必ず一讀せざる可からざるの好著述なり一たび此書を繙かば多病なりし夫婦は壯健となり不和なりし閨門は圓熟し不姙なりし人は可憐の小兒を擧ぐるとを得ん大方の諸君乞ふ世に有ふれたる此種の著述と同一視するとなく一讀其不幸を癒せらる可し

續篇　**小兒養育法**　一名 兒を擧ぐる法　石版精圖四十個入◎懷中美本　正價金六十錢　密封小包送十錢

發行　東京神田鍛冶町四（電本九四九）誠之堂　各賣捌 全國書店

空前の新著述

帝國理科大學教授理學博士 坪井正五郎先生　宮崎縣師範學校長 遠藤正先生　序文

福岡縣中學修猷館教諭 大鳥居弃三君　宮崎縣師範學校教諭 澤田順次郎君　共著

寫眞版圖畫挿入　美裝全一冊　正價金五十錢　郵税金六錢

本書は科學的研究に基づき**男女の起源**及其**發達**男女**生殖上**の差異及之に伴ふ**諸現象**男女**形質**及び生活上の**差異**人類生活の發展に伴ふ男女の發生及**發育**地位及び**關係**等苟も吾人人類が相同類を知るに須要なる事項を明快に解說せる眞に空前の新著なり。されば世の青年學生、教育者及人の父母たるものは論なく、あらゆる男女自らにとりて如何に本書が貢献する所の多きかは言を要せず。希くは江湖の諸賢幸に一讀の上其眞價を了せられんことを。

發行所　東京市神田區裏神保町（電話本局二千三十九番）光風館書店

第五回內國勸業博覽會賞牌受領

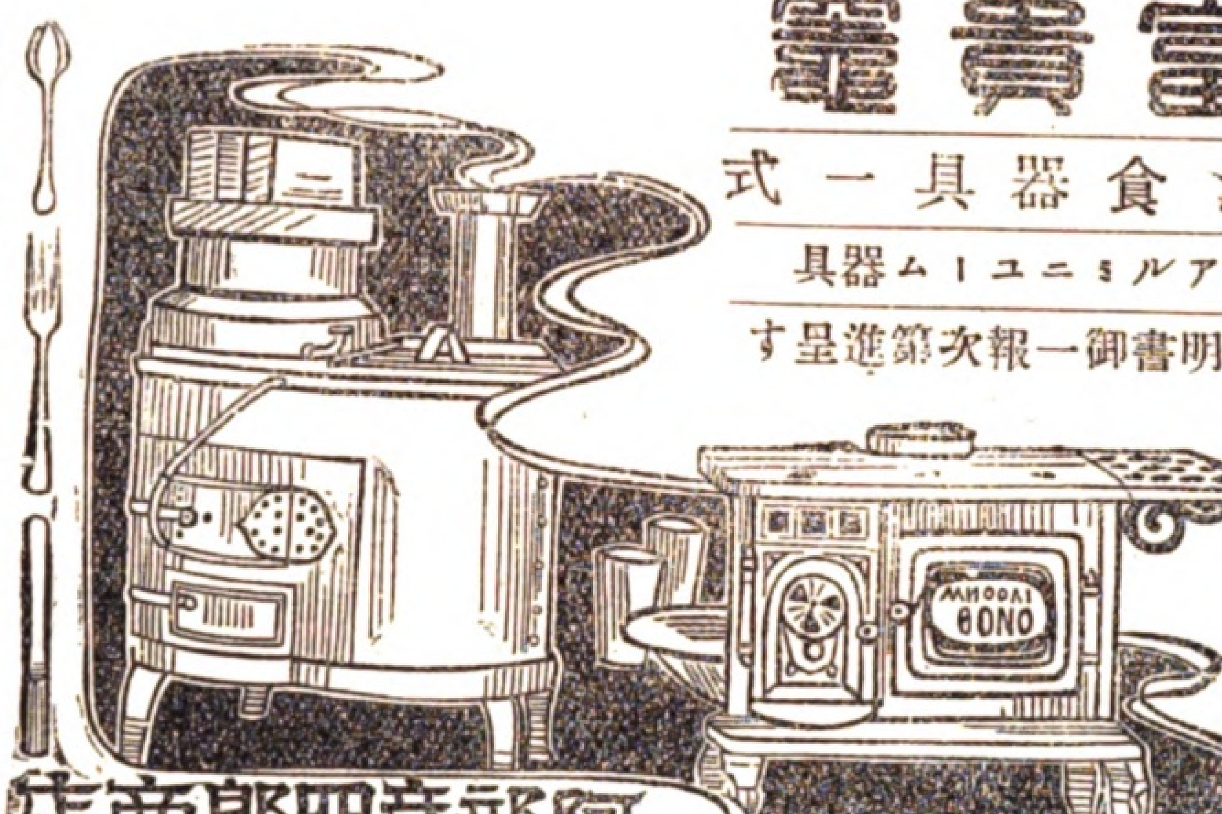
新炭兩用○專賣特許

富貴竈

洋食器具一式

アルミニューム器具

說明書御一報次第進呈す



阿部彦四郎商店　淺草茅町淺草橋際　電話下谷二九三二番

西川商舖牛豚肉販賣　謹告

品質佳良無比類　價廉我店所最勉
配達迅速而正確　夏季殊勉其防腐
普通配達日三回　市內何處不厭遠
若有臨時急用事　走自轉車而直辨
地方配達有便法　特勉西洋料理用
請試購而評其味

價格左ニ

牛肉百匁	円
ヒレー	50
ロース	45
ラン	38
スチキ	38
イチホン	38
ヒキ肉	30
ブリスケ	22
ハラスープ	16
スネスープ	20
尾	15
ケンネン	05
舌	42
ケンネン油	14
ヘット	16
豚肉百匁	
上等	20
並等	18
チヤブ	14
ヒキ肉	16
油	16

電話番町 六五九　小石川表町廿二番地　西川本店

電話下谷 二二七一　本郷區駒込東片町五番地　西川支店

新形護謨氷枕　代價一個 金四圓也

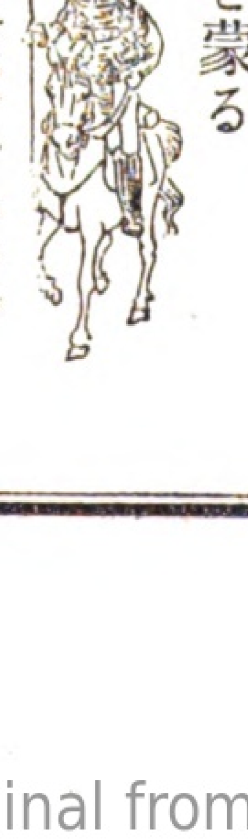
本品は水及氷塊を入るべき最新工夫にして殊に眞正のゴム製なるが故に空氣枕及湯タンポに代用すべく旅行に携帶して至便の具なり▲東京大阪其他全國各醫科器械店に販賣す

東京市日本橋區本町三丁目　玉屋支店

携帶便利新器發行に就き第二敬告

起死回生　寶丹

○○軍御用を蒙る



今回新製の輕銀容器入（定價金貳拾錢 一名二十世紀）は軍旅○○御携帶用として非常の御稱贊を忝ふし續々御注文の恩命に接し居候

右は包紙共總量貳匁五分に有之候故郵券僅か（金參錢）にて戰地へ到達可致候間此段爲念特に敬告仕候也

東京市下谷區池之端仲町貳拾七號所有地

寶丹本舖　十世 守田治兵衛　謹白

全國各地寶丹販賣店に差出有之候若し萬一無之候はゞ郵券貳拾錢御封入直接御注文被下度早速御郵送可仕候

生徒募集

本科豫科及乙種師範科生徒ヲ募集ス入學志望者ハ入學願書ニ履歴書戶籍謄本及受驗料金壹圓ヲ添ヘ來ル八月廿四迄ニ願出ツベシ

但募集人員及入學手續等ハ本月十七日官報廣告欄ニアリ尚詳細ノ規則書ヲ要スル者ハ郵券二錢添付本校ニ申出ツベシ

明治三十七年六月

東京音樂學校

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大醫處方調劑

内外可溶性錠劑
消毒綱帶材料
葡萄酒滋養品類
醫療用諸器械

麴町四丁目
尾澤藥局

御用の節は電話番町百四十一番へ御願申候

工業用藥品
高等賣藥類
高等化粧品類
度量衡各種
和漢洋藥品類
外國諸鑛泉
衛生消毒分娩用具
寫眞用藥品
ゴム製氷袋類
線香、薫香類
舶來ミルク及哺乳器

以上正格に、誠實に機敏に、廉利に、輕便に、敏速に、熱心に信用を第一として御需用に應じ奉らんと期す、仰ぎ希くは多少に拘はらず御愛需御賞用あらんことを敬白

登錄商標

ミルク

東京市麴町區麴町四丁目十二番地(舊小西商店跡)
尾澤分店　藥劑師　尾澤洪　謹白
電話(番町百四拾一番)

●華族女學校學監　下田歌子先生著

女子自修文庫　第二編　女子の文藝

明治的女子に最も完全にして最も適當なる讀物を供給せんの目的を以て特に編纂せられつゝある女子自修文庫は曩に第一編女子の心得を發刊し非常の好評を博せしが今や其第二編として詩歌俳諧より女子に必用なる百般の文藝を網羅し材料豐富運筆經妙、又以て女子の文藝を生まんとす、說く所作文の模範たるを得べし●第一編女子の心得既刊●第三編近日發刊全部六冊

正價一冊金四十錢〇三冊一圓十四錢〇六冊二圓十六錢〇郵稅一冊八錢

發行元　東京神田裏神保町　合資會社　冨山房

東京市日本橋區通一丁目
合名會社　森村銀行
電話(特)本局六七三番

定期預金　六ヶ月以上　年五分二厘
當座預金　百圓に付日步　八厘
特別當座預金　同日步　壹錢壹厘

ヴワイフレツト製
壽美花ねりおしろい
伊童壺室吉製
定價　大瓶二十錢　小瓶十二錢
定價　大瓶廿五錢　中瓶十五錢　小瓶十錢

西洋色白くなる洗劑
壽美花あらひ粉
東伊壽兩勢美國吉堂
定價綠豐紅彩樂帯ひ館防六錢百匁ボックス入三錢袋入壹錢

本劑は近頃同名又は類似の藥各地に夥多相見へ候に付人魚の商標と高木の名稱篤と御認の上御求めあらんことを乞ふ

高木堂　登錄商標

官許　懷中要藥
清心丹(せいしんたん)
本舖　東京元大坂町八番地　高木與兵衛

赤のまんま
神田區表神保町一
電話本局二八五三番

しらが赤毛の人に告

定價小瓶一組五拾錢中瓶一組壹圓送料十錢該液劑(媒染液揚染液)は獨逸國醫學博士ビース氏の新發明になり從前有ふれたる白毛染粉とは異り使用方は極簡易僅々十分間に眞美黑色となり數月間不變化の功力を有し皮膚に無害なるは小店の保證する所也白毛赤毛の方は御試用の上不思議の功能を知られよ明細書希望者は郵券二錢封入申込あれ

發賣元　東京市京橋本材木町三ノ四　岡田商店

玉親必携

卸部　美濃磯本店　東京日本橋區長谷川町　電話浪花二八五九番
小賣部　美濃磯本郷支店　本郷區本郷五丁目　電話下谷一四一五番
美濃磯淺草支店　淺草區諏訪町
美濃磯佐內町支店　日本橋區佐內町
小田商店　芝區新櫻田町
伊澤商店　牛込區神樂町二丁目
伊澤支店　四谷區傳馬町二丁目

院長　醫學博士　榊順次郎　毎日午前診察
副院長　醫學士　久保徳太郎　毎日夕刻診察

婦人科産科榊病院

東京麴町三番町廿三(電話番町三九五)

産婆學新學期　通學生募集

産科婦人科　楠田病院
東京日本橋區濱町三丁目七

●水原産科婦人病院

○所在神田區猿樂町十二番地(電話本局千七百〇九番)○外來診察午前中○入院往診隨時○同院に私立産婆學校の設あり

○産科婦人科櫻井病院

日本橋區矢の倉町十二番地　電話浪花二二一九
院長　醫學士　櫻井郁二郎
診察午前院長　午後副院長

◎◎三大難患最新療法◎◎
るゐれき　切開を要せずして根治す
●心臟病　●脚氣　專門
千葉內科院
神田區三崎町三の一　四通り二十五

看護婦の需に應ず

東京看護婦協會
神田區錦町參、貳、(電本三三一四)

婦人ふるちの藥

定價一貼五錢三貼十四錢五貼廿三錢七貼三十二錢
一此藥劑は婦人血の道一切の藥にして清血を補ひ古血をめぐらすとかんようにして少しも脾胃にさわることなく血を下すにてはなく血をみちびき通ずる藥なり第一月々めぐり少き婦人はたツぷりと見るなり數年古血滯りある婦人は其のふるちのかたまり殘らずつうずるなり●〇南まけづつう目まひ手によし〇ふるちとゝこほり〇ながち〇しらち〇あしいたみ〇血しやく〇ひゑるときさしこみ〇むねいたみ〇つぎむしによし〇むねこしいたみ〇さんごわとはらのいたみはいかほどつよきいたみにても一ト包にて功あり〇さんごわるちのとどこほりに用ひて功あり〇猶能書にくわしくしるす

東京市本所區東兩國横網町一丁目
本家製藥所
總發賣店　伊勢吉本店
(電話浪花二一七五八)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎特約販賣店

◎東京堂　神田區表神保町三番地

◎東海堂　京橋區銀座四丁目

世界無比新發明英國製ワッセル

油染油垢でも揉まずに脱る奇代の原料

●此ワッセルは湯一升に貳匁(小盃へ半分餘)の割合にて溶解し洗濯物を凡貳時間浸し揉まずに置き後水にて洗へば自然に脱ます白地の着物シャツ足袋等には石鹼より數倍の効用があります

●婦人の髮は一匁五分(小盃へ半分位)を一升餘の湯に溶解して洗へば玉子と同様の効用があります脂肪多き身躰に常に使用すれば皮膚を密にします尤も水虫糸かせ手のあれる事は決してありません

●食器臺所道具は勿論戸棚板の間の拭掃除にも有効です絹木綿毛織物を晒すに至極妙です又硬水を軟水にする特効があります蒸汽管の鑛石も奇妙に除去ます

芳香ワッセル

●此ワッセルは香料其他衛生に適する各種の原料とを加味せしものなれば朝夕御用ひの方は香氣馥郁として色を白くし總て皮膚の患にかゝるとなし又おしろい下を用ひずして御化粧の出來る事妙なり

ワッセル水　ワッセル石鹼

●此品も芳香ワッセル同様の有効品であります論より證據一度御用ひあれば其効能はすぐ知れます

以上何品にても中元御進物用になります

東京京橋區卅間堀三丁目河岸
英國製ワッセル日本一手販賣元
御肌あらい芳香ワッセル製造元
三友商會
(電話新橋千百十二番)

費用と手數を省き無害有効の洗淨品

煮熱殺菌
牛乳

北辰社牛乳は最滋養に富む
明治十九年三月十四日一等褒賞を受く

北辰社精製のバタは味佳美
明治十九年三月十四日一等鑑定狀を受く

從四位淺田宗伯先生直傳　淺田飴

良藥にして口に甘し

だんせきに淺田飴
空腹にめし

定價　金五拾錢　金參拾錢　金貳拾錢　金拾錢

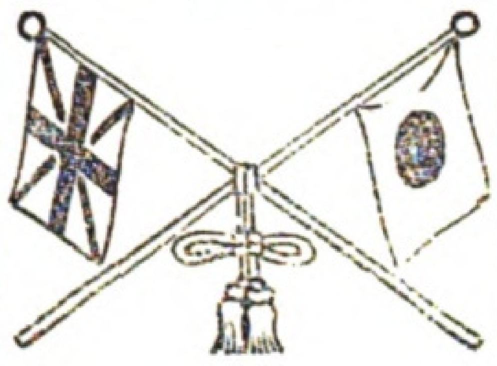
本家　東京神田鍛冶町　大阪北久寶寺町　堀内伊太郎

日本全國到る處の藥店に販賣す

衛生上欠くべからず品

新發明
髮あらひ粉
女仙
製造
いかなる油付たる髮でもおちること奇妙なり
本舖　東京神田新石町　町榮堂

註意(女仙)印御覽の上御求被下
賣捌店は全國小間物店賣藥にあり
代理店又は特約店大賣捌き御望の方は至急御申込あれ
神田區錦町三、一九



各國流行最新形
婦人服專門
近岡助三郎

ゼーエム印香油
ゼーエム印はみがき
製造本舖
大阪市東區高麗橋四丁目心齋橋角
前神彰榮堂
電話東一七五六番

衛生上社交上一日も欠くへからさる物品

●此のゼーヱム印香油は鑛物性の油は少しも交へず髮毛に屈强の養ひとなる數種の植物性の油のみにて精製したる品でありますそれ故之を御用ひになれば髮毛の惡癖惡臭を除き脱毛を止め髮毛を軟かく美麗にするばかりでなく非常に長く毛を延ばします殊に洗ひ髮よりさら〳〵して夏向も臭くなる憂は決して御座りません其上他に比類なき好い香ひが致します

此油を用ゆる時は頭痛を忘れふけを生せず精神爽快を覺ゆ故に普通の化粧品と同視するなかれ世界唯一の强國を相續なさる大責任ある男女學生の諸君は最も必用ならん

此油は美麗なる箱入に相成居り候間夏期の御進物には至極適當の眞品に御座候

英國新發明
徳用洗濯粉
衣洗ひ

東京　販賣元　杉美喜
東京市本郷區駒込西片町十番地(御嶽神社側)

此せんたく粉は木綿絹布を御洗濯被成に至て輕便の品で御座いまして、地質を損せず色さめず譯てメリンス、友染、毛織類を洗に至極の品です、石鹼の如く惡臭が御座いませぬ故、すゝぐにも手數なく殊に、少量の粉にて洗ます、貴婦人方の多く、御使用になります、白羽二重等には至極妙です、又髮洗粉の代用として宜敷、譯て海水のため、ねばりたる髮を洗には有効の洗粉で御座います、尚髮を御洗の時は極小量て宜敷いのです

右(香油、衣洗粉)は中元の御進物の好適品

ゼーエム印齒磨
ゼーエム印香油
東京特約卸小賣
衣洗粉發賣元
麴町區麴町五丁目角赤ポスト前
杉商店

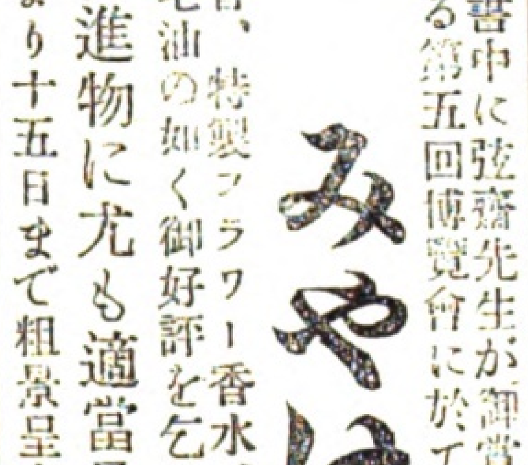
食道樂書中に弦齋先生が御賞賛せられたる第五回博覽會に於て賜褒賞

純粹椿
みやけゆ

御ねり油三宅香、特製フラワー香水、新製いたしましたれば三宅油の如く御好評を乞ふ

中元の御進物に尤も適當品
開業一週年の祝として七月一日より十五日まで粗景呈上

登録商標



日本橋區人形町通水天宮前
本舖
間宮三宅堂

明治三十七年七月五日發行(每月五日二十日二回)

發行兼印刷人　山澤俊夫　編輯人　手島益雄　發行所　大日本女學會內

印刷所　東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地　株式會社秀英舍第一工場

愛國婦人第五十七號附錄

帝國圖書館 IMPERIAL LIBRARY

明治三十七年七月五日發行（每月五日廿日二回）
明治三十五年三月廿七日第三種郵便物認可

評議員
伯爵夫人酒井夏子

滋賀縣支部長
鈴木錄子

愛媛縣支部長
菅井よう子

發行兼印刷人 山澤俊夫 編輯人 手島益雄 發行所 大日本女學會內愛國婦人發行所
印刷所 東京市牛込區市ケ谷加賀町一丁目十二番地 株式會社秀英舍第一工場

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大日本女學會編纂

婦人寶典

和紙摺帖入全五册　頗る美本紙數一千三百頁　實價金三圓三十錢　小包郵税金二十錢

洋紙摺全一册　総金文字クロス入　紙數同上　實價金二圓二十錢　小包郵税金二十錢

此書は小松宮頼子殿下の總べさせられ女學の通信教授を以て世に名高き大日本女學會に於て多年蒐集されし所の女學に關する和漢洋の諸材料中より最も婦人に適切なる部分を拔萃したるものと新たに名家の起稿されたるものとを一書にまとめ以て婦人座右の良師友たらしめんが爲に編輯されしものにて殊に其學藝諸科目は何れも專門大家の擔任に係り實に世に類なき婦人寶典なり其目次並に講述者左の如し

本文

○女子修身	女子高等師範學校教授	佐方鎭子
○禮法		同上
○家庭教育	三輪田高等女學校長	三輪田眞佐子
○家事管理	女子高等師範學校教諭	後閑菊野子
○家事經濟		同上
○家事衛生	東京帝國大學名譽教授醫學博士	三宅秀
△衣服		同上
△飲食物		同上
△住居		同上
△動靜		同上
△育兒		同上
△婦人衛生		同上
△看護	東京醫科大學教授醫學博士	吳秀三
○裁縫	東京裁縫女學校長	渡邊辰五郎
○割烹	故	田邊和氣子
○挿花		同上
○點茶		同上
○作文		今泉定介
○作歌	御歌所寄人	坂正臣
○習字	御歌所參候	大口鯛二
○畫學	女子美術學校教授	武村千佐子

鼇頭挿畫

○音樂(明治音樂會幹事東儀季治)○刺繡(共立女子職業學校刺繡主任教師木村仲子)○造花(同校造花主任教師金子支江子)○編物(同校編物主任教師豐原繁尾子)○組絲(同上)○兒童心理(日本女子大學校教授高嶋平三郎)○なりむすび○食品分析表○歌書式○歌御會始預撰歌集○婦人名歌集○交際の栞○泰西禮法一斑○家庭遊戲○各地特殊の料理○法制大意○經濟大意○女訓○和書解題○漢書解題

○上古、天平、藤原、鎌倉、足利、德川、今代、各婦人服裝の彩色畫(村田丹陵筆)○光明皇后、紫式部、承香殿女御、小大君、平政子、山內一豐夫人、各筆蹟寫眞○明治貴婦人筆蹟寫眞○明治閨秀筆蹟寫眞(以上口繪)此他卷中の挿畫數百個

◎本書は內容の有益多趣なるのみならず外形をも高尚優美に裝飾せる者にて進物賞品等に極めて適當なり◎本書は各特約書肆に發賣を託しあり御便宜の場所にて御購求を乞ふ◎本書の見本御入用の御方は往復はがきにて御申込次第進呈すべし

發行所　東京京橋區柳町五番地　郁文舍＝大阪東區南本町四丁目　積文社

◎右の書籍發行につき本會事務所に於て購讀者の便宜を計り次の特別割引を以て本會々員會友並に「をんな」愛國婦人讀者達へ送本方取扱ひ候●和裝割引代價金貳圓九拾錢●洋裝同金壹圓九拾五錢(但し小包郵便料前掲の通り貳拾錢を要し候尤も東京市內は郵送料を要せず候)

東京麹町區下二番町三十七　大日本女學會事務所(電話番町一三三〇)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN